

マイナカード保険証「利点」PR

政府答弁總崩れ



衆院本会議で答弁する河野
太郎テシタル相=4月14日

健康保険証を廃止し、マイナンバーでの取得を強制するマイナンバー法等改定案が参院で審議されています。これまでの国保管弁で政府があげた保険証廃止のメリットが、結局になってしまっています。

天野昌弘

河野太郎アシタル相談だよ」「ほらやが」が医療院地方創生デジタル特別相談に「ほらや」という半顔です。会(12日)で保険証を購入し、組の健康保険証での「なりた場所の『一大リスト』をもあ」などと並んで記載して、強調しました。

その一つが、「組の保険証た誕生地の田原町口議

「懸念」しては、迷惑をのぞみつた。
地獄樂園は「懸念力が
起じるやうに、大臣は物のか
らも、起じゆゆつてこる」と
批判。河野トシタル君の答弁
の盛りを聞かせつた。

Jの問題を日本共産党の橋本龍子議員が23日の衆院地域活性化・Jのしも政策・デジタル特別委員会で追及。河野泰弘相は「誤入力といつては、これはあります」と「これまでJをわざわざ」と「これまでJを誤入力した」として、河野氏は「仮に誤入力、誤記その他があったとしても、あんまりそれを発見して対応できるように体制を

『メリット』の根拠が示せませんでした。

河野デジタル相があげた一つ目の『メリット』は、「紙の保険証で受診すれば(窓口で)さまたまな誤入力が起きている。それを防ぐ意味でもマイナンバーカードで受診していくだろ」というもの。

しかし、この国泰富弁があつた12日以降、マイナンバーカードに個人の保険証情報をひも付けられていましたが相次いで発覚して